

碩心

題字は松井岳洋筆

No.371

平成17年5月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵
編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax.046-875-3723

舞と吟

広報部長 磯村 岳朋

詩吟と出会ったのは32年前、年号の昭和も華やかな時代でした。

母に「子供の頃から踊り好きだったろう？一緒に習おう」と誘われ、何も考えず教場に付いて行きました。舞のみ習うつもりでしたが「詩舞を稽古するなら吟も習うとよいよ」と三井雲岳（当時）先生に言われ、その日の内に千葉香風（当時）先生にもお会いし、詩舞、詩吟両方に入門しました。

初めて聞いた吟は「九月十日」。人前で声を出すことのなかった私は全員の注目を浴びながら夢中で声を張り上げていました。

詩舞も母と共に始め、週2日も一緒に行動することになり、母が煩わしく教場を逗子Bに移籍しました。しかし母は最後まで私の良き理解者で且つ良きライバルでした。

お陰で途中挫折することもなく今日まで続

けられたと感謝しております。

この「舞と吟」各々が持つ教えの数々と今だ学ぶことの多さ、まだまだ習得途上です。

一般に詩舞の振り付けは形だけを表し、気持ちや込められてこそ美しい舞いになるのではと思います。言い替えば詩舞は、吟詠がなくては舞うことができません。詩吟が舞者の心を動かし、舞者は吟詠に乗せられて舞うのです。伴吟だけが頼りで、伴吟が止まれば立ちん坊にならざるを得ません。美しい舞いの源は吟詠なのです。

私は今日まで舞いの舞台を重ねた結果、伴吟の時はまさかのために詩文メモを手にするにしています。詩文を暗記するのは当然ですが、万一に備え舞者のため、自分のためと心掛けております。

また、舞台の上での失敗は数知れず、泣いたり落ち込んだりの挙げ句に悟ったのは「上手くやろうは失敗のもと、稽古の積み重ねのみが失敗しないコツ」と信じ、更なる精進を重ねたいと思います。

行事予定

○寒河江吟友会との姉妹会交流20周年吟行会

日程・6月9日(木)・10日(金)

行先・山形県寒河江市

参加費・30,000円

申込先・松井岳篁

046・856・9232

○碩心会総会

日時・6月11日(土) 18時より

場所・逗子文化プラザ会議室

○第14回神奈川地区青少年吟道大会

日時・6月12日(日)

場所・横浜市金沢公会堂

○温習会

日時・6月19日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館

○神奈川県年齢別吟詠大会

日時・7月9日(土)・10日(日) 9時

場所・地球市民かながわプラザホール

昇伝認許

(平成17年4月1日付)

(少年 2名)

283 広瀬直樹 9級 282 広瀬優作 5級

(初段 7名)

277 藤崎洋子 276 飯島百合子 275 長田富士子

273 新倉 勇 270 山下 信 269 大塚陽久

268 岡田麗子

(二段 4名)	259 渡辺恵美子	258 乗松 力	256 田邊隆治
	254 寺村多系		
(初伝 3名)	253 若田義泉	252 吉田千泉	251 加藤茗泉
(三段 5名)	250 大塚洋泉	248 齋藤健泉	247 酒井芳泉
	246 今井重泉	245 鮎澤紅泉	
(四段 7名)	244 鮎澤紀泉	243 坂上醴泉	242 池田詩泉
	241 中村欣泉	240 種田麗泉	239 菊地捷泉
	238 志田廣泉		
(中伝 4名)	228 石渡美山	227 吉原益山	226 須藤敦山
	225 佐藤英山		
(五段 4名)	219 鈴木翠山	218 湯浅杏山	217 田沢潤山
	216 伊藤泰山		
(六段 2名)	209 上村炎山	208 鈴木光山	
(七段 2名)	186 菊地君風	185 大西雄風	
(八段 5名)	167 林田静風	166 黒田慶風	165 山本新風
	164 行谷隆風	163 水留稜風	
(準師範 2名)	47 臼井照岳	48 野田公岳	

(平成17年4月1日付)

和やかに春季審査会終わる

今年の春の審査会は3月19日(土)快晴の空に木々の芽吹きが美しい葉山町福祉文化会館の大会議室で開催された。

今回は受験者も45名と少なく、前回までの返子図書館ホールに替わり、小じんまりとした今回の会場は大きな教場の雰囲気でも演壇も審査員席も更には受験者の一般聴講席も皆近く、始終和やかな明るい空気に溢れていた。

受験者は皆さん臆することなく堂々と吟じ、日頃の精進の一端を披瀝し会場いっぱい拍手を浴びた。

審査員は加藤岳心、加藤岳洵、矢島岳悦、上村岳章の4先生で個々の課題吟を熱心に審査された。結果の総合講評では「姿勢、発声、呼吸、ことば／三段上がり、五言の落とし／和歌、俳句」等詳しく説明され、最後に全員合格の発表を宣言されて閉会となった。

第11回全国優秀吟者吟道大会

まだまだ厚手のコートが必要な3月13日(日)明治神宮会館大ホールに於て、第11回全国優秀吟者吟道大会が開催されました。

碩心会からは連吟の部に神奈川県代表で、出吟しました。さすが地区代表の全国大会、

早朝から会場には息苦しいほど張りつめた空気が流れていました。

「独吟漢詩の部」から昼食休憩を挟み「独吟和歌の部」とプログラムも順調に進行し最後に「連吟の部」が始まり、我が碩心の3名が堂々登場し、立派に吟じ終えました。残念ながら入賞は逸しましたが、その素晴らしい吟詠は聴衆の耳にいつまでも余韻を残しました。

この実績はきっと今後の碩心会のパワーとなって次なる出場に結びつくことでしょう。

鎌倉市詩吟詩舞連盟春季大会

穏やかな春分の日の3月20日、鎌倉市深澤学習センターに於て詩吟詩舞連盟の春季大会が開催されました。春の大会としては2回目ですが、年間を通じて秋季の1回だけでは物足りないとの要望が多く、春秋年2回の発表会となった次第です。

初回から参加者以外の入場者が多く、初めて吟や詩舞に出会ったと言う人もあり、会場は満席となり急遽座席を50も増設する嬉しい誤算でした。

碩心会からは21名が出吟し、皆堂々と日頃の練習の成果を如何なく発揮しました。閉会時には全員笑顔で次回を期待する言葉を交わし、今回の成功を祝しました。

教場訪問

◆悠吟教場

教場のなりたち 発端は、一柳道岳さんでした。故一柳さんは戦前に故元会長根岸岳翠先生と同門で、松井岳洋先生に師事し、暫く吟から離れ、昭和48年頃逗子商店街の店主を集め、銀詠支部を作る。一柳道岳さんの病没後、千葉岳関（当時劔風）先生が担当指導者になりました。

沼間支部も合流し銀詠支部として運営。会員の要望で平成8年頃悠吟と名付けた。

現在人員は、15名。稽古日は、火曜日13時から、金曜日19時から。両教室共逗子商工会コミュニティセンターです。

この日のようす 3月25日19時より逗子商工会コミュニティセンターに於て、14名の出



悠吟教場の皆さん
◎は担当指導者
大塚陽久 小野裕岳
下村佳風
大前智岳
渡邊恵美子 人見海岳
時田千岳
星野清泉 (加藤会長)
松木妙山
渡辺香風 ◎千葉岳関
松岡杏岳
中村紫風 小野祥岳

席。先ず3月19日の審査会について、千葉岳関先生のお話があり、全員合格の結果報告の後拍手。「吟道精神」「碩心会の詩」「県本部詩」「吟道訓」合吟する。

この日は、「寒梅」を練習する。先ず素読し、注意点として、助詞をうまく使うこと、二句三息、言葉の間の大切さ、アクセント、五言の落とし、等々指導があり大変充実した稽古風景でした。

碩心会創立70周年

記念誌の編集にご協力を！

平成19年に当会創立70周年吟道大会の開催に向けて、記念誌発行の編集作業を進めています。このため貴重な資料を収集しています。が、会員の皆様にご協力頂き各支部の行事なども含め、写真を添え説明を記したものを借用したいと存じます。どんな写真でも結構です。責任をもってお返しいたします。

(写真の裏には名前を記して下さい。)また、各支部の紹介欄を設けていますが、生い立ち・活動状況・モットー等を記事にして支部会員全員の写真入りで紹介したいと考えていますので、支部長には年内に集合写真と紹介記事の提出をお願いいたします。(教場訪問の写真とは別に)

会員皆様のご協力をお願いいたします。
※提出先 記念誌編集委員長・松井岳篁まで

支部名変更

平成17年5月1日付

3 松井 岳篁	4 内山 岳青	11 磯村 岳朋
31 渡辺 岳雲	10 田中 岳明	77 小池 和岳
49 松川 好岳	17 鈴木 江岳	104 海津 祥岳
72 大山 政岳	28 佐竹 岳扇	118 神藤 葉岳
76 一柳 良岳	◎42 祐野 岳孝	137 市原 儀岳
86 中山 俊岳	112 徳本 華岳	◎153 新井 國風
87 森 暎岳	122 川瀬 慧岳	211 島 光山
102 江原 一岳	124 原田 義岳	217 田沢 潤山
105 草柳 武岳	134 久永 広岳	229 後藤 和泉
108 田中 景岳	251 加藤 茗泉	252 吉田 千泉
111 中村 豊岳	270 山下 信	
114 田中 耕岳	280 飯淵 武	
130 高見 陽岳	284 井出 秀子	
◎131 高見 湘岳		
138 金子 憲風		
186 菊地 君風		
202 元泉 誠山		
223 中村 勝泉		
237 高橋 陽泉		
239 菊地 捷泉		
		◎支部長

わたしの 雅号の由来

長柄 石井 虹 岳 (みよ子)

平成12年5月、皆伝の免状を頂きました。皆伝を受けるにあたり、何か意味のある字にしたいなと思い娘に話したところ、12年は辰年なので、古来中国では虹は龍の化身と言われていた「故事に倣い『虹』にしたらとの助言を得ました。

又、私事ですがこの年3月には初孫が未熟児ながら生まれ、何かとハラハラ、ドキドキさせられました。その孫も今は幼稚園生活を楽しんでいます。

私にとって想い出深い雅号です。

東伏見 寺 岡 栄 風 (七男)

詩吟は自然の長閑けさ、人生の生きざまなど奥が深く、心が癒され慰められる。

詩吟教室に誘われ10年有余、その間先生や先達同僚の教えを得て今日に至っている。お陰で吟を生涯の友とすることができた。

これからの余生も健康に恵まれ且つ楽しくすごすことが叶うには、矢張り伴侶の存在が大きい。共に栄える念いを込め、私の雅号は彼女の名前の一字を拝借した。

会員移動

○入会 (4月1日付)

287梅澤 ハル 横須賀市公郷町4・11・6

(幸和A) ☎046・853・6140

紹介者 西川 幸岳

総伝位及び奥伝位 禁止雅号について (通知)

標記について、平成17年4月1日より下記のとおり改定しますので通知いたします。従って、今まで禁止しておりました、下記文字以外の雅号は使用可能となります。

伝 位	禁 止 雅 号	禁 止 期 間
総伝位 奥伝位	「岳風」、ほか「がくふう」と読む全ての雅号	永 久
伝 位	禁 止 文 字	禁 止 期 間
総伝位	「楠」・「鳳」・「俊」・「神」・「洋」 「陽」・「聖」	永 久
	「漱」 (前理事長、平澤岳漱と同姓の場合のみ)	理事長退任後10年間 (平成26年6月5日まで)
	「導」 (現理事長、平吹岳導と同姓の場合のみ)	理事長在任中及び 退任後10年間

注…禁止文字は如何なる字体も禁止します。

○退会 (4月1日付)

74 依田清岳 (吟秀B) 78 金子輝岳 (吟秀A)

119 植村成岳 (篁風) 182 塚越正風 (堀内E)

187 野邑里風 (吟秀B) 200 原 佳山 (幸和A)

262 田中吉江 (吟秀B) 263 岸科洋子 (吟秀B)

266 沼田視知世 (堀内F) 278 稲葉卓泉 (幸和B)

○移籍届 (5月1日付)

19 村田岳瀨 (逗子A) ↓ (真澄)

○名簿訂正

5 加藤岳相 (宗匠) ↓ (宗師)

253 岩田和義 (239-0822) ↓ (239-0821)

274 野田まち子 (堀内B) ↓ 野田まき子

編集後記

爽やかな薫風の中ゴールデンウィークも終わり、6月は、行事も多くなりますので、健康には注意しましょう。身も心も、健やかでなくては、本当に楽しくありません。笑う門には福が来るとか「笑う」と自然治療力が増すと言います。趣味を楽しんで、元気に長生きしましょう。

広報部

17年 5月現在	会員数	
葉山地区	157名	
逗子・大船地区	115名	
合 計	272名	